

病院機能評価受審

2014年1月16～17日の2日間にわたり当院は、病院機能評価・一般病院2 <3rdG:Ver.1.0> を受審致しました。

この審査は、公益財団法人・日本医療機能評価機構が実施しているもので、当院が選択したVersionは、“主として二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹病院を対象”としたものです。過去受審した内容とは少し違ったアプローチのものでありました。

従来 of 体制や手順整備の構造的な内容もさることながら、例えばケアプロセスのチェックといった、より実効性を重視した内容にポイントが置かれておりました。

審査結果は、まだ先ですが、質の向上を第三者に評価頂くことで、患者さんに“より標準的な医療”を提供したいと考えております。



初期臨床研修医 募集のご案内

当院では、来年度も初期臨床研修医の募集を予定しております。

【平成27年度 臨床研修医】

応募資格：平成27年医師免許取得見込み者（既卒者で臨床研修未経験者を含む）

募集人員：3名

身分：研修医

研修期間：2年間（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

募集締切日：平成26年7月31日（木） 当日消印有効 応募書類は簡易書留で郵送または持参

選考日：2回実施 平成26年8月22日（金）と平成26年8月28日（木）

応募書類：

1. 履歴書（写真貼付）
2. 成績証明書
3. 卒業（見込）証明書
4. 健康診断書（大学で行ったもので可）

選考方法：面接、小論文試験

【お問い合わせ】

医療法人橘会 東住吉森本病院

研修事務局： 松下・原田

電話：06-6606-0010

FAX：06-6606-0055

e-mail：rinsyou@tachibana-med.or.jp

*研修医の処遇詳細はホームページを参照ください。

<http://www.tachibana-med.or.jp/medical/training03.html>

地域連携講演会 COPD Forum

開催日：2013/11/16(土) 18:00～19:30

場所：帝国ホテル大阪 3階 『鶴の間』

【演題】座長：東住吉森本病院 心臓血管センター 循環器内科 部長 坂上 祐司先生

『今、注目される COPD について実臨床の実際（病院と開業医様との連携）～当院での呼吸器患者様について～』

東住吉森本病院 呼吸器内科 医長 伴 裕雅先生

今回は当院、呼吸器内科医長の伴先生より、COPD の話を中心に講演がありました。

GOLD の最新ガイドライン第 4 版の解説から COPD にまつわる様々な視点の記事を紹介し、COPD を全身疾患としてとらえ、症状、治療戦略そして予防方法など独自の広い視点で解説しました。講演後も会場から多数の質問があり盛況に終わりました。



第 6 回 東住吉がん診療連携懇話会

開催日：2013/11/30(土) 17:00～19:00

場所：スイスホテル南海大阪 8階 『白鳥の間』

【一般演題】座長：東住吉森本病院 肝胆膵内科部長 藪さこ 恒夫先生

『緩和ケア病棟開設から 2 ヶ月の歩みと展望』

東住吉森本病院 緩和ケア病棟主任 緩和ケア認定看護師 江口 由紀氏

『悪性狭窄に対する内視鏡的十二指腸ステント留置の成績』 東住吉森本病院 内科 堀田 潔先生

『当院における閉塞性大腸癌に対する治療方針の変遷』 東住吉森本病院 外科 形部 憲先生

【特別講演】座長：東住吉森本病院 肝胆膵外科部長 清田 誠志先生

『胆管癌診療のトピックス～印刷労働者にみられた胆管癌多発事例を含めて～』

大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 病院教授 久保 正二先生

第 6 回を迎えた東住吉がん診療連携懇話会は、一般演題 3 題あり、緩和ケア認定看護師江口 由紀氏より当院の緩和ケア病棟の運営について統計の分析や症例に基づいた事例発表がありました。

同じく当院内科より堀田 潔先生が、悪性狭窄による通過障害におけるバイパス手術とステント留置について様々な視点から有効性を比較し、その治療戦略を述べました。続いて当院外科・形部 憲先生より閉塞性大腸癌に関して、ステント留置とイレウス管の治療成績を比較し、ステント留置により合併症を減少させることが出来ると述べました。



第4回 南大阪末梢動脈循環セミナー

開催日：2013/11/14(木) 18:30～19:30

場 所：ホテル日航大阪 『孔雀の間』

【一般演題】座長：東住吉森本病院 心臓血管センター 心臓血管外科 部長 南村 弘佳先生
『創傷治療の臨床』 東住吉森本病院 形成外科 部長 辻口 幸之助先生

【トピックス】『東住吉森本病院のフットケア血管外来の現状』
東住吉森本病院 心臓血管センター 心臓血管外科 部長 南村 弘佳先生

【特別講演】座長：東住吉森本病院 心臓血管センター 循環器内科 部長 坂上 祐司先生
『重症虚血肢に対するカテーテル治療最前線』
国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 河原田 修身先生

今回の南大阪末梢動脈循環セミナーは、当院形成外科部長の辻口先生より上記の演題で講演がありました。交通事故における高エネルギー外傷、熱傷、難治性潰瘍、皮膚壊死などの症例に対して、その形成・再建術などの方法を紹介し、他科との連携強化で良好な治療効果が期待できることを述べました。

続いて、当院心臓血管外科部長、南村先生よりフットケア外来の紹介がありました。糖尿病を基礎疾患とするPAD (peripheral arterial disease) 患者を中心に創傷治療は形成外科、そして血流改善治療を循環器内科、糖尿病内科や心臓血管外科などが相互連携し合うという治療戦略を症例と共に説明しました。

また、特別講演の河原田先生より『重症虚血肢に対するカテーテル治療最前線』という演題で重症下肢虚血患者の治療などについて血管内治療、内科的治療の方向から解説がありました。



クリスマスコンサート

2013年12月20日、恒例の東住吉森本病院クリスマスコンサートを開催しました。

院長の挨拶に続き、大阪市立大学医学部オーケストラ部によって、クリスマス曲やハリーポッター、エルガーの「威风堂々」第1番、もののけ姫など親しみやすい名曲の数々が演奏されました。患者さんやご家族などで外来フロアが一杯になる盛況ぶり。最後には、「上を向いて歩こう」「ふるさと」の大合唱で盛り上がりました。今年もクリスマスの時期に元気をプレゼントできたかもです！

〈中庭イルミネーションと大阪市立大学医学部オーケストラ部の皆さん〉

〈院長先生も頑張っていました！〉



院内 QC 発表会

2013年12月13日、平成25年度QCサークル活動院内発表会を実施いたしました。

院内から多くのサークルが応募し、うち7チームが院内発表会チームにノミネートされました。そして最優秀賞は、Cook doチームのテーマ『食事オーダー改革』が選ばれました。今後もQC活動を通じて院内の質改善に努めてまいります。



患者さん入院のご案内

患者さんのご入院に際して、

入院費のお支払い方法、保険会社等証明書類、駐車場、面会時間等についての詳しい情報を下記URLよりPDFにてダウンロードできます。

http://www.tachibana-med.or.jp/news/pdf/admission_info.pdf

ご活用ください。

編集後記

広報室 M

厳冬真っ只中、いかがお過ごしでしょうか？

そんな寒い年末に和歌山の加太へ釣りに連れて行ってもらいました。(しかし、もう20年くらいご無沙汰...) 1年のリセットにはいいかな?! と思いましてTRYしたのです。すると一発目から高級魚(?) Blowfishのヒット!! 皆からは落胆の声でしたが、何の何の! このデザインと配色、なかなかキレイではありませんか! (砂まみれでごめんなさい。)

日常では、気づくことのない自然の美しさをあらためて再確認、年末のリセットにふさわしい1日でした。



*東住吉森本病院のホームページでも情報が日々更新されております。 <http://www.tachibana-med.or.jp>